

【七月の言葉（令和八年）】

ともに生き、支え合う。

それがあなたと私の

目指す世界。

私たちはつい、自分一人で生きていると思つてしまいがちです。

時に、一人で生きていくことが素晴らしいことだとさえ考えてしまいます。

しかし、衣・食・住といった当たり前の生活でさえも、誰かの支えがなければ、成り立ちません。

私たちは誰かに、何かに支えられて生きています。

だとしたら、私もきつと、誰かの、何かの支えとなることができるはずです。

（「親鸞聖人のことば―『教行信証』御自釈を読む―」

〈本願寺出版〉参照）